

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成21年10月14日	使用開始日	平成21年11月1日
登録診療科	血液内科	申請医師	西浦
レジメン名	PFA(ホスアプレビタント)		
疾患名	非ホジキンリンパ腫	適応の備考	
適応分類			
1コース日数	28 日間	総コース数	4 コース
抗がん剤投与量・投与日	シスプラチン25mg/m ² day1-4、フルダラ30mg/m ² day3-4、キロサイド500mg/m ² day3-4		

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
1	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																													
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body	30 分	●																													
2	主ルート	ハロセトン注バッグ0.75mg	1 本 / body		●																													
	点滴静注	デキサート注6.6mg デキサート注1.65mg	1 本 / body 2 本 / body	30 分	●																													
3	側管2	生食100mL	1 本 / body			●			●	●																								
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body	30 分		●			●	●																								
4	側管2	生食100mL	1 本 / body				●	●																										
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	2 本 / body	30 分			●	●																										
5	側管1	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●																										
	精密持続静注	シスプラチン注	25 mg / m ²	24 時間	●	●	●	●																										
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する																																		
6	側管1	生食50mL	1 本 / body	5 分					●																									
	点滴静注																																	
シスプラチンフラッシュ用																																		
7	側管2	生食100mL	1 本 / body				●	●																										
	点滴静注	フルダラ注 注射用水100mL	30 mg / m ² 1 本 / body	15 分			●	●																										
シスプラチン開始後48時間後、72時間後に15分で投与する。																																		
8	側管2	生食250mL	1 本 / body				●	●																										
	点滴静注	キロサイド注	500 mg / m ²	60 分			●	●																										
シスプラチン開始後52時間後、76時間後に60分で投与する。																																		
9	側管2	生食50mL	1 本 / body	5 分			●	●																										
	点滴静注																																	
キロサイドフラッシュ用																																		

【投与上の注意】

・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

キロサイド:大量投与時、結膜炎予防のためのステロイド点眼を行う。例えば0.1%フルメロン点眼、1日3回、両眼、キロサイド投与前日から投与終了の翌日まで。

シスプラチン:希釈は生食のみ。

シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。

hydrationのため、day1-4に補液を投与する。